

生活リズム向上プログラム

○家庭教育サポート企業などと連携した夏期休業中のラジオ体操の取組を通して、望ましい生活習慣の定着を図る。

インターネット等を通じたコミュニケーションなどが進み、ネット依存などの情報化社会の陰の部分指摘される中、子どもが自らの生活を振り返りながら、望ましい生活習慣を主体的に身に付けていくためには、学校だけでなく家庭や地域が一体となった取組を計画的に進めることが大切です。

本プログラムは、地域の多様な家庭教育サポート企業と連携し、子どもたちに夏期休業中のラジオ体操への参加を促す取組を通して、子ども一人一人が自らの生活を振り返り、望ましい生活習慣を身に付けることをねらいとしています。

家庭教育サポート企業と連携した早朝ラジオ体操の実践例（小学校）

1 概要

主に小学生を対象とした夏季休業中の早朝ラジオ体操を行う活動を通して、望ましい生活習慣の定着について理解を深められるようにしています。

家庭教育サポート企業の協賛など地域との連携を図ることで、子どもたちと地域の人々のコミュニケーションが深まり、郷土に対する愛着を一層深められるようにしています。

2 プログラム例

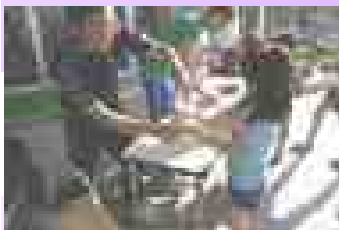
【取組期間】

取組終了後も、自発的に望ましい生活習慣づくりをしようという意識啓発をするため、短期間（2週間）とする。



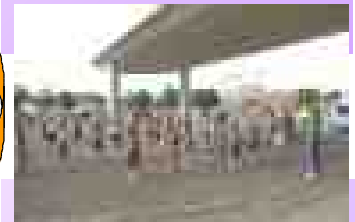
【達成感の高揚】

郵便局からスタンプカードの提供を受ける。
朝ごはんの大切さを実感してもらうため、協賛企業の協力を得て、参加者に農産物等を配布する。



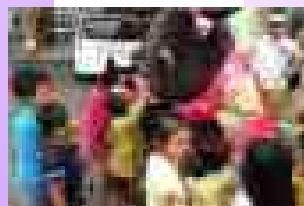
望ましい生活習慣の定着

子どもたちと地域住民の
コミュニケーションの深化



【活動の広がり】

家庭教育サポート企業との連携を図り、子どもだけでなく、地域の大人も巻き込んだ取組とする。



【自治会との連携】

自治会を通じて、地域住民の参加も促す。